

令和7年度 年間授業計画

東京都立大泉高等学校附属中学校

教科名	技術・家庭 技術領域	対象学年	3年	週時数	0.5
使用教科書	「教育図書」技術・家庭 技術分野	教科担当	技術・家庭 技術科 小田 仁吏		
副教材	「東京書籍」学習ノート				

授 業 計 画

目標	授業の	年間	* 伝統的な技術や最先端の技術を知り、生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と社会、家庭とのかかわりあいについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。							
主な学習内容	学期	月	単 元	学 習 内 容	配当時間	思考・判断・表現	主体的に学習に取り込む態度	知識・技能	学 習 の 到 達 目 標	評価のための判断材料
	1 学期	4	ガイダンス	・1学期の予定及び年間の授業予定。	6	○	○	○	・一年間に学習する内容理解する	・授業振り返りシート ・実習作品 ・定期試験 ・自己評価用紙
		5	生物育成の技術	・生物を育てる技術の目的について理解する。					・生物育成に何する概要、意義。	
		6		・安全・適切な栽培又は飼育、検査等ができるようになる。					・正しい生物育成のための技術や方法を知る。	
		7		・問題を見いだして課題を設定し、育成環境の調節方法を構想して育成計画を立てるとともに、栽培又は飼育の過程や結果の評価、改善及び修正について考えることができる。					・具体的な実践として野菜を育成する。 ・生物育成実習を通して結果の評価や改善点等を考察できる。	
	2 学期	9 ・ 10 ・ 11 ・ 12	エネルギー変換に関する技術	・エネルギー変換の技術の概要 ・エネルギー変換効率 ・発電方法 ・簡単な電気回路の設計及び製作	8	○	○	○	・エネルギー資源の枯渇か、地球環境問題の悪化等によりエネルギー問題が深刻化してきていることを知る。	・授業振り返りシート ・実習作品 ・定期試験 ・自己評価用紙
				・簡単な電気回路の設計及び製作 ・電気の基礎知識					・エネルギーは様々な中速に変換され利用されること、その際にエネルギーの孫出芽生じることを知らせる。	
				・代表的電気部品					・電流、電圧、抵抗、電力、回路などの電気に関する基礎知識の確認。	
				・半導体の基礎知識					・電気回路を設計し簡単な半田付け作業が出来るようにする。	
				・代表的半導体(ダイオード、トランジスタ)					・半導体の基礎理論を学習させる。	
・半導体を用いた簡単な回路				・トランジスタやダイオードを利用する技術について考えさせる。						
・エネルギー変換のまとめ及び自己評価										
3 学期	1 ・ 2 ・ 3	・4単元総ざらい	・全単元(材料、生物育成、エネルギー変換、情報)を通しての全体的まとめ。 ・学習内容をどう社会や自己の生活の中に当てはめ、生かしていけるのかを考えさせる ・未来の科学技術社会への展望。	3.5 17.5	○	○	○	・生物の生育は人にとって非常に重要であるが、その為には自然界の環境や、生態系全体としての視点も重要であることを知らせる。 ・生物の生きるための主要な原理、原則を知る。 ・安心で栄養価の高い栽培方法を考えさせる。	・授業振り返りシート ・定期試験 ・自己評価用紙	

評価の観点	・製作手順を理解し、製作を行っている。
	・各製作工程を意識し、効率的かつ完成度の高いものにしようとしていたか。
	・プログラムが正しく組み込まれ、作品が予定通りの作動をするか。
	・自らの生活を振り返り、実生活や社会に役立てようとしているか。
評価の方法	・自己評価用紙への記入、授業観察、授業
	・評価用紙
	・定期考査、製作品の完成度
	・授業や実習への参加姿勢